

【実践事例（8）】

（涌谷高等学校）

地域住民や関係機関等と連携した避難訓練の実施

■訓練名 涌谷町総合防災訓練

■連携した訓練の実施に当たって

- 前年度の町総合防災訓練の様子を学校防災担当者が参観
- 涌谷町学校防災担当者会における町総合防災訓練の参加形態の確認
 - ・町防災担当部局から訓練概要の説明
- 町防災担当者と総合防災訓練参加に当たっての打合せ（複数回）
 - ・総合防災訓練での高校生と地域住民が担う役割を協議

■涌谷町総合防災訓練への参加（上記の打合せ等を受けて参加した）

○高校としての参加形態

- ・学校を総合防災訓練主会場として提供
- ・高校生は有志が参加（35名）

○総合防災訓練の概要

- ・水害想定
- ・涌谷町役場や地域の住民、自主防災組織など合計200名弱が参加

○高校生が町総合防災訓練で担った役割

避難者誘導訓練



車や徒歩で避難してくる方を、校門や駐車場（WATS前）から、避難場所となる体育館へ誘導しました。

避難所開設訓練



感染症対策のついで等を準備し、避難所の受付をつくりました。地域の方とともに避難者の受付をしました。

被害状況伝達訓練

（臨時災害 FM 放送局）



町内の被害状況を役場の方から受け取り、ラジオで被害状況を伝達しました。

段ボールベッド設置訓練



体育館前にある町の防災備蓄庫から段ボールベッドや間仕切りを取り出し、実際に作ってみました。

応急救護訓練



遠田消防署の方から心肺蘇生法や簡易担架の作り方についてレクチャーしていただきました。

NTT 災害伝言ダイヤル171体験



災害時に電話が繋がりにくくなったときに使える声の伝言板「171」を体験しました。

■訓練を通じた感想

- ・高校生が訓練に参加してくれるのは本当にありがたい。感謝。（地域住民）
- ・災害時、避難所等において子どもたちの力は大変大きい。（町防災担当）
- ・地域住民が、より積極的に訓練に参加し、避難所運営訓練等にも協力的になっている。（町防災担当）
- ・学校と地域と町の連携の基盤ができた。（町防災担当）
- ・若い私たちが率先して動かなければならない。こういう機会での地域の人との関わりは大事。（生徒）